

平成 27 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 7 月 29 日

上場会社名 **ダイソーケミックス株式会社** 上場取引所 **東**
 コード番号 **4366** URL **http://www.daitochemix.co.jp/**
 代表者(役職名) **代表取締役 執行役員社長 (氏名) 二宮 榮規**
 問合せ先責任者(役職名) **管理部長 (氏名) 南 修一** (TEL)06(6911)9310
 四半期報告書提出予定日 **平成 26 年 8 月 13 日** 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **無**
 四半期決算説明会開催の有無 : **無**

(百万円未満切捨て)

1. 平成 27 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期第 1 四半期	2,258	14.2	24		30		21	
26 年 3 月期第 1 四半期	1,977	2.3	149		129		142	

(注) 包括利益 27 年 3 月期第 1 四半期 52 百万円(%) 26 年 3 月期第 1 四半期 109 百万円(%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27 年 3 月期第 1 四半期	1 99	
26 年 3 月期第 1 四半期	13 23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27 年 3 月期第 1 四半期	13,033	8,456	64.9
26 年 3 月期	12,429	8,423	67.8

(参考) 自己資本 27 年 3 月期第 1 四半期 8,456 百万円 26 年 3 月期 8,423 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26 年 3 月期				2 00	2 00
27 年 3 月期					
27 年 3 月期(予想)				2 00	2 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 27 年 3 月期の連結業績予想(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	4,300	1.3	100		100		100		9 30
通 期	9,400	8.5	250	18.2	250	9.6	200	25.7	18 61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	11,400,000株	26年3月期	11,400,000株
期末自己株式数	27年3月期1Q	652,375株	26年3月期	651,383株
期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	10,748,089株	26年3月期1Q	10,750,030株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和策、米国経済の緩やかな回復の効果もあり、企業収益や雇用情勢が改善するなど、景気回復の傾向が見られるものの、原材料およびエネルギーコストの上昇、消費税引き上げによる個人消費への影響懸念、中国やその他新興国経済の成長鈍化、地政学的リスクの高まりなどによる世界経済の減速懸念があり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動、新製品開発の促進に全力をあげて取り組みました結果、化成製品事業、環境関連事業とも、前年同期に比較して、売上高は増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は22億58百万円（前年同期比14.2%増）、経常利益は30百万円（前年同期は、経常損失1億29百万円）、四半期純利益は21百万円（前年同期は、四半期純損失1億42百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は前期末比6億3百万円増の130億33百万円となりました。流動資産は前期末比6億5百万円増の56億67百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加であります。固定資産は前期末比2百万円減の73億66百万円となりました。主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少であります。

負債合計は前期末比5億70百万円増の45億76百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加であります。

純資産は前期末比32百万円増の84億56百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加であります。

これにより自己資本比率は64.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想の数値から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更したほか、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が2百万円増加（投資その他の資産を含めて表示）し、利益剰余金が1百万円増加しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	648	1,531
受取手形及び売掛金	2,283	2,077
商品及び製品	497	660
仕掛品	1,131	806
原材料及び貯蔵品	416	516
その他	84	74
流動資産合計	5,061	5,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,889	1,842
機械装置及び運搬具（純額）	495	452
土地	2,990	2,990
その他（純額）	69	71
有形固定資産合計	5,445	5,357
無形固定資産		
投資その他の資産	4	4
固定資産合計	1,917	2,004
資産合計	7,368	7,366
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	582	616
1年内償還予定の社債	196	196
短期借入金	500	700
1年内返済予定の長期借入金	279	271
未払法人税等	27	10
賞与引当金	133	197
その他	332	376
流動負債合計	2,052	2,369
固定負債		
社債	993	993
長期借入金	625	853
引当金	13	15
退職給付に係る負債	7	9
その他	313	336
固定負債合計	1,953	2,207
負債合計	4,005	4,576

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	1,031	1,032
自己株式	△350	△350
株主資本合計	8,003	8,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337	381
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	81	70
その他の包括利益累計額合計	420	452
純資産合計	8,423	8,456
負債純資産合計	12,429	13,033

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,977	2,258
売上原価	1,914	2,046
売上総利益	62	211
販売費及び一般管理費	212	187
営業利益又は営業損失(△)	△149	24
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	12
持分法による投資利益	5	9
為替差益	12	—
雑収入	5	5
営業外収益合計	35	28
営業外費用		
支払利息	9	10
雑損失	6	11
営業外費用合計	16	21
経常利益又は経常損失(△)	△129	30
特別損失		
投資有価証券評価損	8	—
特別損失合計	8	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△138	30
法人税等	4	9
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△142	21
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△142	21
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△142	21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	43
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△17	—
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△11
その他の包括利益合計	32	31
四半期包括利益	△109	52
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109	52
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,648	329	1,977
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	6	6
計	1,648	335	1,984
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△176	25	△151

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△151
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△149

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,893	364	2,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	7	8
計	1,894	372	2,266
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△37	58	21

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	21
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	24

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。